

# — 覚城院聖教と

# 経蔵再生 その魅力—

日時

2020年12月13日 日  
13:00~18:50

会場

ZOOMによるオンライン開催

**経蔵調査とは何か。**新たな文化財を見つけることでも、研究資料を漁ることでも、旧態を復旧することでもない。我々が目指すのは、混沌とした状態で死蔵されている歴史遺産を現代に蘇らせ、活用可能な状態にして次世代に引き継ぐことである。この理念の元、今回は、多くの学僧の学び舎であった讃岐七談義所の一つ**覚城院**の経蔵整理作業の過程から浮上した知見について報告する。

## プログラム

趣旨説明 中山一麿 (大阪大学 招へい研究員)

- ▶ **古文書の修復 — 覚城院中世聖教を中心に —**  
吉田裕志・谷奈智子 (有限会社墨仙堂)
- ▶ **空観房如実と賀茂流について — 覚城院蔵『結縁灌頂丹州巖辺寺記』**  
伊藤聡 (茨城大学 教授)
- ▶ **近世地方寺院の諸相 — 覚城院を中心に —**  
須藤茂樹 (四国大学 教授)
- ▶ **覚城院と近世仁尾浦の宗教秩序 — 仁尾賀茂神社との関係を中心に —**  
大田壮一郎 (立命館大学 教授)
- ▶ **奈良文化財研究所所蔵『覚城院・萩原寺等関係中世聖教類』について — 覚城院資料の調査・研究における可能性を中心に —**  
橘悠太 (奈良文化財研究所 文化遺産部歴史研究室アソシエイトフェロー)

**参加方法** ※事前申し込み不要。一般聴講も歓迎いたします。

ZOOM環境をご準備のうえ、ウェブサイト <https://jarsa.jp/jishiken20212>  
もしくは右のQRコードよりご参加ください。開始時間の10分前より入室可能となります。



【主催】科学研究費補助金 基盤研究(A) (研究代表者:中山一麿/課題番号:19H00529)  
「地方基幹寺院に於ける文献資料調査と経蔵ネットワークの研究」

【ウェブサイト】 <https://jarsa.jp/jishiken20212>

【お問い合わせ】 [knpro.info@gmail.com](mailto:knpro.info@gmail.com)

科研費  
KAKENHI